

平成29年度東京ヘリポート消火・救難訓練

7月27日（木）に、東京港管理事務所及び東京消防庁城東消防署主催で、「東京ヘリポート消火・救難訓練」を実施しましたので、報告いたします。

東京ヘリポート消火・救難訓練

実施日時 平成29年7月27日（木）
13時30分～16時00分

場 所 東京ヘリポートエプロン
（スクエア・パターン・テスト場、コンパス修正場）

主 催 東京港管理事務所、東京消防庁城東消防署

参加機関 25機関（東京ヘリポート安全連絡協議会）

参加人員 72名（見学者（13名）含む。）

消防車両 3台（東京ヘリポート消防隊、東京消防庁城東消防署、東京消防庁航空隊）

訓練概要 東京ヘリポートを離陸しようとして北側誘導路から滑走路に向かっていった機体が、真横からの突風に煽られて操縦不能となり、北側誘導路上に落下。負傷者3名を救助した後、出火したという想定で訓練を行いました。

今回は、東京消防庁城東消防署、東京消防庁航空隊をはじめ、航空会社など25機関72名が参加し、連携して負傷者救助や消火手順を確認しました。

また、訓練終了後、城東消防署砂町出張所長により、東日本大震災における東京消防庁の活動記録（ビデオ）の上映に続き、震災の教訓を忘れずに普段から火災発生や被害の抑止を心掛けることの大切さについて講話が行われました。



* 訓練を知らせる垂れ幕掲示



* 城東消防署等関係機関への情報伝達



* 救難隊により救出された負傷者



* 救難隊が負傷者搬送



* 東京ヘリポート消防隊による放水



* 城東消防署、消防庁航空隊による放水



* 訓練終了後の講評



* 講話（3.11 東日本大震災を教訓に）

今回の訓練では、東京消防庁城東消防署所属のポンプ車、東京ヘリポート消防隊及び消防庁航空隊所属ポンプ車の計3台による放水訓練を実施し、連携強化を図りました。

訓練の実施により、緊急時における関係機関との連携を再確認することができました。

今後も東京ヘリポート利用各社（隊）など、関係機関と一致団結して緊急時の対応力向上を図ってまいります。

最後に、訓練に参加された皆様、機体を提供して下さった東邦航空株式会社様に感謝申し上げます。

（東京港管理事務所港務課）